

令和8年度地域日本語教育講演会

参加費
無料

地域日本語教育を通じた 多文化共生のまちづくり

ー岡山県総社市の「総社モデル」を事例としてー



令和8年

10月17日 土

13:30 ~ 16:00 (開場 13:00)

場 所

群馬県立女子大学2号館第1, 2, 3講義室

申 込 方 法

大学ウェブサイトまたは二次元コードからフォームにアクセスし、

10月15日(木)までに参加登録を行ってください。

申込フォーム



内 容

〈講演者・コーディネーター〉

中東 靖恵氏 (岡山大学 准教授)**第1部 講演**〈演 題〉地域日本語教育を通じた多文化共生のまちづくり
ー岡山県総社市の「総社モデル」を事例としてー**第2部 トークミーティング**

講演内容に関する質問や自分たちの活動に関する意見交換

対 象

日本語ボランティア活動をしている方、一般県民、
自治体職員、教員、本学学生・大学生、高校生等

参加方法

要 予 約

※当日参加も可能ですが、準備の都合から事前予約をお願いいたします。

お問い合わせ

群馬県立女子大学 事務局連携推進係
〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1
〈受付時間〉9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00TEL : 0270-65-8511
Mail : nihongo@mail.gpwu.ac.jp

主催：群馬県、群馬県立女子大学地域日本語教育センター

地域日本語教育を通じた

多文化共生のまちづくり

－岡山県総社市の「総社モデル」を事例として－

講演概要

外国人住民の増加と多様化が進む中、自治体における地域日本語教育の体制整備と、多文化共生社会の実現が重要な課題となっています。本講演では、岡山県総社市における行政を事業実施主体とする地域日本語教育事業「総社モデル」を事例として、「顔の見える関係づくり」を基本理念に、日本語教育の質の保証と多文化共生のまちづくりを実現するための具体的な取組について紹介します。地域日本語教育が日本語学習支援にとどまらず、地域社会の課題解決や住民相互の理解促進にどのように貢献できるのか、参加者の皆様との意見交換を通して、共生社会の実現に向けた今後の地域日本語教育のあり方を考えたいと思います。

講演者・コーディネーター プロフィール

中東 靖恵 氏（岡山大学 准教授）

岡山大学学術研究院社会文化科学学域准教授。専門は社会言語学。2010年度より総社市日本語教育事業に従事し、2025年に『地域日本語教育を行政と共に創る－岡山県総社市「総社モデル」の構築と展開－』を刊行。文部科学省地域日本語教育アドバイザー、岡山市地域日本語教育推進のための総合調整会議委員長などを務めるほか、県内外の自治体で「やさしい日本語」の普及にも取り組んでいる。

プログラム

13:30～	〈あいさつ〉 群馬県立女子大学 学長 （地域日本語教育センター長） 塩澤 寛樹
13:40～	〈第1部 講演〉 地域日本語教育を通じた多文化共生のまちづくり －岡山県総社市の「総社モデル」を事例として－ 講師 岡山大学 准教授 中東 靖恵 氏
15:00～	休憩
15:10～	〈第2部 トークミーティング〉 グループディスカッション・講演内容に関する 質問や自分たちの活動に関する意見交換 コーディネーター 岡山大学 准教授 中東 靖恵 氏
16:00	閉会

〈司会〉地域日本語教育センター副センター長 新井小枝子

お問い合わせ

群馬県立女子大学 事務局連携推進係

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1

TEL: 0270-65-8511 Mail: nihongo@mail.gpwu.ac.jp

〈受付時間〉9:00～12:00、13:00～17:00



▲ 大学ウェブサイト